

## 吉田城址の武家屋敷地を発掘調査 —道路跡や庭園の池などを確認—

旧豊橋球場のグラウンド部分で行っている発掘調査について、A区（5,300㎡）の現段階までの調査成果をご報告する現地説明会を開催します。多くの市民の方にご来場いただければ幸いです。

A区調査期間：令和6年4月1日～令和7年2月中旬（予定）

発掘調査面積：5,300㎡ ※約1,600㎡が2層調査のため、実質は6,900㎡

調査実施機関：豊橋市教育委員会（美術博物館） ※受託業者（株）二友組

### ポイント① 武家屋敷地を南北に貫く道路「裏袋小路」の跡を確認

「裏袋小路」は、「表袋小路」から食い違いに折れて北に延びる道路で、江戸時代前期（17世紀半ば）の「三州吉田城図」から幕末の「吉田藩士屋敷図」まで、さまざまな吉田城図に描かれています。両側には中級武家の屋敷地が並んでいました。今回の調査では、砂利などを敷き、転圧して舗装した道路（裏袋小路）の跡や、道路沿いに塀の跡・排水溝などが確認されました。道路に沿って整然と並ぶ武家屋敷地のようすが伺えます。



「裏袋小路」の跡

### ポイント② 改造が繰り返された、庭園の池

江戸時代に度重なる改造を経ながら整備された池が見つかり、不整形で水を引き込んだ導水遺構を伴うことから、庭園の一部と考えられます。江戸時代の武家屋敷地の庭園遺構が確認されたのは、三河地方では初めてのことです。



確認された庭園の池

### ポイント③ 奈良時代の役所「渥美郡衙」

武家屋敷とは別に、奈良時代の1基の井戸から墨書土器や水滴、硯などが多数出土しました。文字の筆記にかかわる出土品が多く、8世紀にこの地に設けられた「渥美郡衙」（郡の役所）に伴う遺構と考えられます。墨書土器には「又吉」と書かれたものがありますが、その意味は分かりません。名前か、縁起の良い吉祥句と考えられます。



出土した「又吉」墨書土器

問合先 教育部 美術博物館 文化財センター 所長 岩原 剛 (56-6060)

## 現地説明会の概要

日時：令和7年2月1日（土）10:00～11:30、13:30～15:00

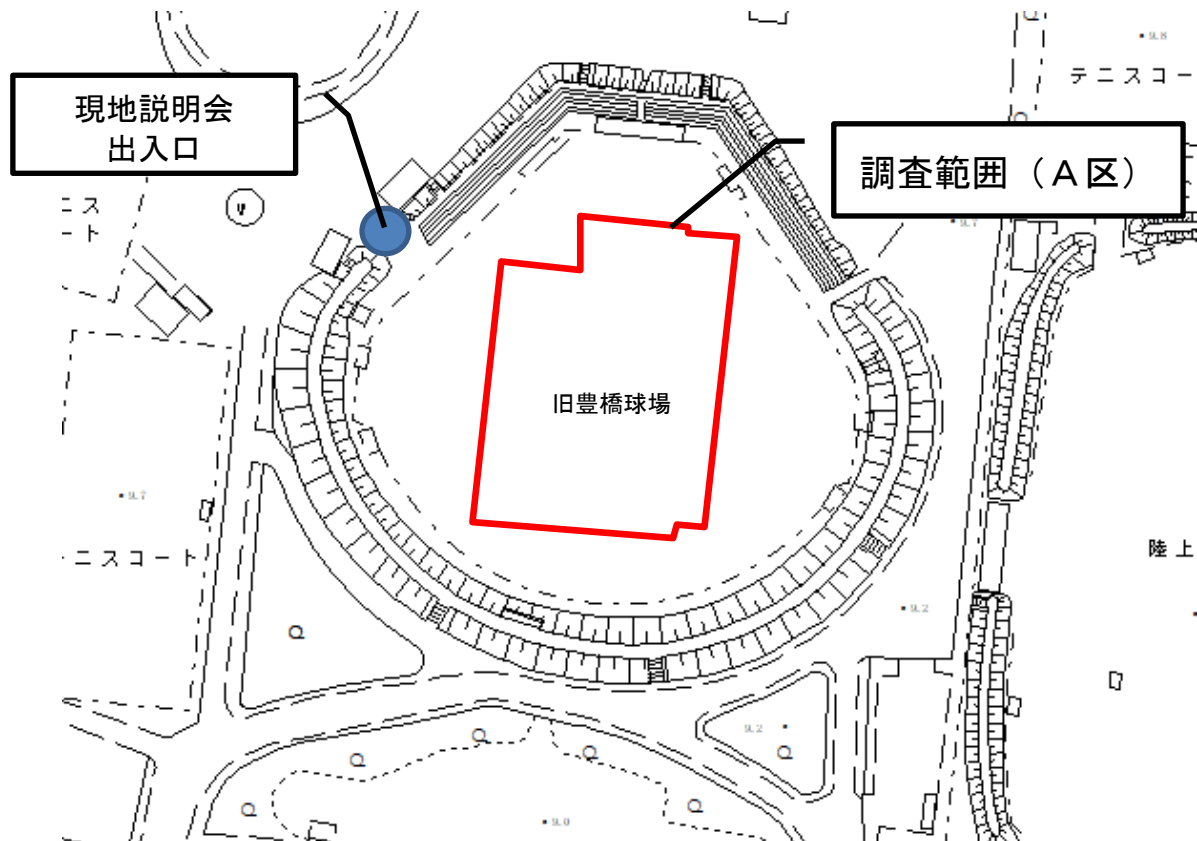
※少雨決行（中止の際は、美術博物館HP及びX（旧ツイッター）でお知らせします）

会場：旧豊橋球場 グラウンド（豊橋公園内）

※現地説明会の出入口は、旧豊橋球場西側出入口になります

内容：発掘調査を担当した調査員による解説のほか、出土品や調査中の画像の展示、資料の配布。

その他：豊橋公園内の駐車スペースには限りがあります。公共交通機関でのご来場をお願いします。



### 発掘調査の報道関係者の取材について

報道関係者向けの現地説明・取材受け入れを、下記の期間に行います。

**1月24日（金）10:00～11:30**

※旧豊橋球場西側出入口前に、10:00までに集合してください。

※雨天中止

担当：美術博物館（文化財センター） 岩原 剛（56 - 6060）